

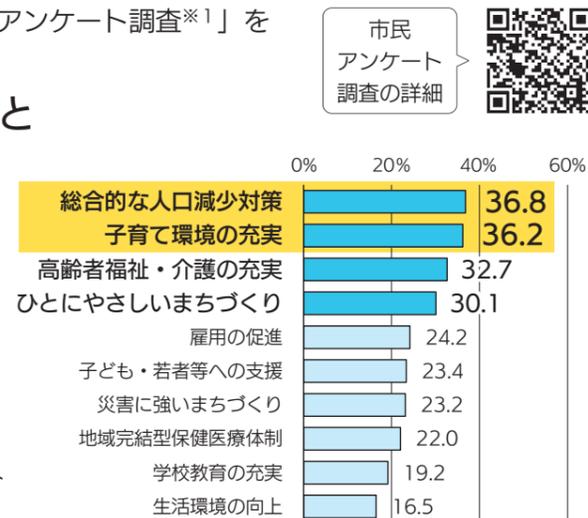
4 アンケートから見る市民の意識

総合計画をつくるにあたり、「まちづくりに関するアンケート調査※1」を実施しました。

Q 今後力を入れて取り組むべきこと

- 33の施策の中で「総合的な人口減少対策の推進」「子育て環境の充実」の2施策が約4割で同程度に高い
- 次いで「高齢者福祉・介護の充実」「ひとにやさしいまちづくり」の2施策が3割以上で比較的高い

* 33の施策中、上位10項目について名称の一部を省略して表示
 ※1 調査の概要 調査時期：令和6年7月
 対象：満18歳以上の市民の皆さん2,800人
 回答者数：980人（回収率35.0%）

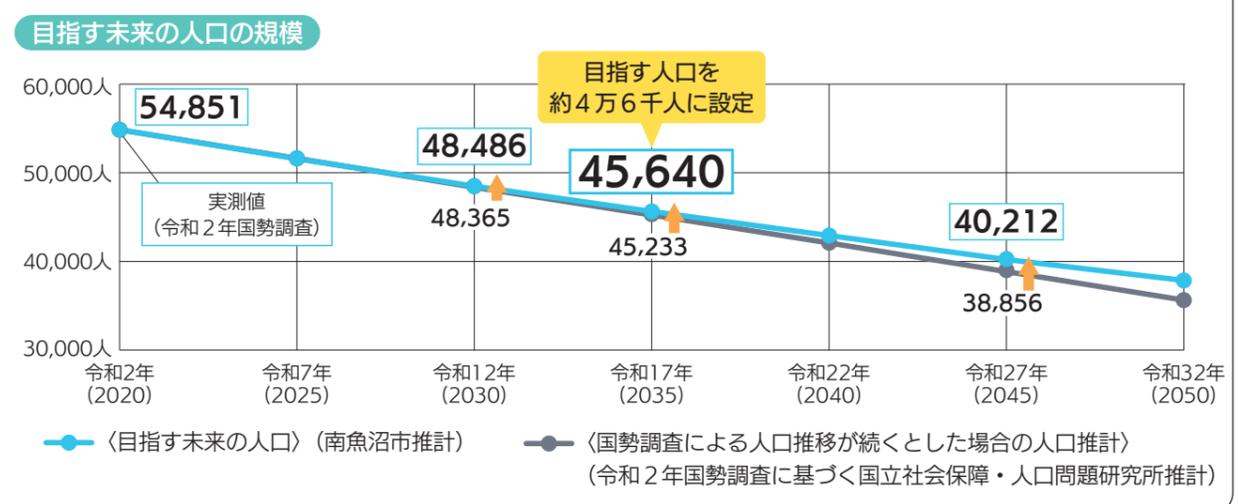


5 人口の将来展望（人口ビジョン）

南魚沼市の人口は、平成7（1995）年をピークに減少に転じ※2、その減少スピードは次第に速くなっています。高齢化と少子化による自然減と、転出数が転入数を上回る社会減の進行は、経済や地域活動など様々な分野に影響を及ぼしています。南魚沼市では、総合計画に掲げる33の基本施策により、将来にわたり持続可能なまちづくりを進めることで、人口減少のスピードを緩やかにし、令和17（2035）年の人口約4万6千人を目指します。

- 方向性**
- 結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり
 - 安心して暮らし続けられるまちづくり
 - まちの活力の創出

- 目指す姿**
- 生まれる子どもの人数と子育て世代の人口確保を図り、少子化を段階的に抑制する（少子化の抑制）
 - 特に若い世代の転入の促進と転出の抑制を図り、社会動態を段階的に均衡させる（社会減の抑制）



※2 「平成7年国勢調査」（総務省統計局）。人口（旧六日町、大和町、塩沢町の3町合計）66,118人

第3次南魚沼市総合計画を策定しました

（計画期間：令和8年度～令和17年度） 【問合せ】企画政策課 ☎773・6672

第2次南魚沼市総合計画が令和7年度で終了することから、今後10年間の新たなまちづくりの指針となる第3次南魚沼市総合計画（以下、「総合計画」）を策定しました。

第2次南魚沼市総合計画から引き続き、「自然・人・産業の和で築く 安心のまち」を将来像とし、誰もが安心して暮らし続けられ、若い世代が安心して働き、結婚・出産・子育てができるまちづくりに取り組んでいきます。

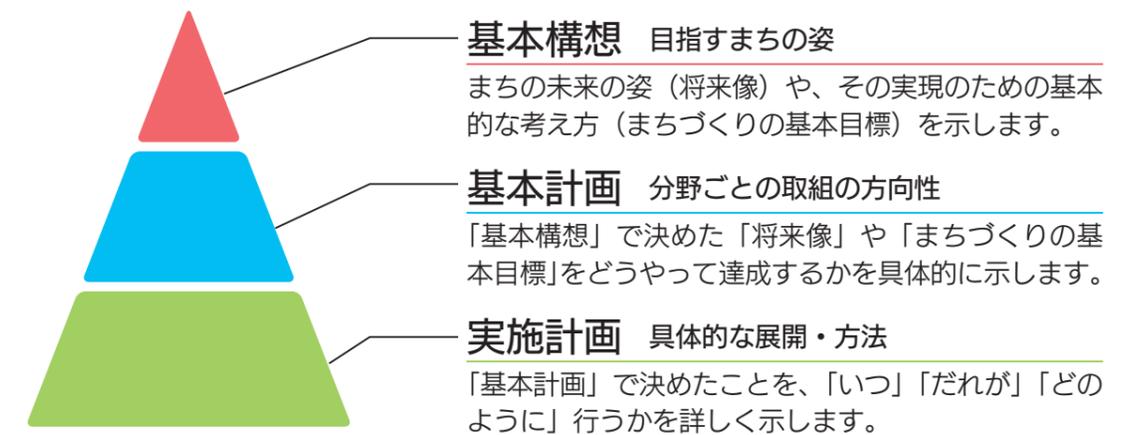


計画全文はこちら

1 総合計画とは

- 総合計画は、南魚沼市をどんなまちにしたいか、そして、そのためにどんなことをするか、まちの今と未来を見据えた「まちづくりの計画」です。
- 様々な「まちづくり」の課題に向き合うとともに、南魚沼市の将来像「自然・人・産業の和で築く 安心のまち」の実現に向け、まちづくりを総合的かつ計画的に進めるための方向性を示し、すべての分野の取組の最上位に位置づける計画です。
- 人口減少に伴う様々な課題に対応し、地域の活性化を図る「地方創生」を進めるために国が策定した計画「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の南魚沼市版としての役割を担う計画です。

2 3つの層で構成されています



3 10年先を見据えた計画です

